

「備えあれば、憂いなし」

～もしも地震が起こったらどうする？～



1月16日（金）の長休みに本年度3回目の避難訓練を行いました。今回のねらいは、地震が起こったときに揺れから自分を守ること、静かに校内放送や先生の指示を聞き、落ち着いて行動することでした。休み時間に行った訓練だったので、教室あるいは廊下、運動場や体育館にいる児童、廊下や階段を移動中と様々な状況だったと思いますが、「地震が起こっている」という放送を聞き、自分の身を守る体制がとれていました。教室にいる児童は、机の下などに入り、頭や身を守っていました。廊下や階段などを移動中の児童は、蛍光灯の場所を避け、体を小さくしてしゃがんでいました。運動場で遊んでいた児童は、教師の指示に従い、中央に集まって座っていました。訓練をする時間を伝えない、あるいは通常の避難経路が段ボールで塞がれているなど、自己判断が必要であるシナリオレスの訓練でしたが、児童は、教師の指示を聞きながら速やかに運動場に避難することができました。地震は、いつどこで起こるか予測が付きません。命を守るためには、日ごろから訓練をしたり、約束事を決めておいたりすることが大切です。ご家庭でも、もしもの場合の対応について話し合っておいてください。



立小あいさつレンジャーありがとう！

毎朝登校してきた友だちに元気よく挨拶を呼びかけている「あいさつレンジャー」。どんなに寒い日も、雪がちらつく日も大きな声で挨拶を呼びかけていて、少しずつ挨拶を返す児童が増えてきました。班の先頭を歩く友長が大きな声で挨拶をすると下級生も同じように挨拶を返してくれます。子どもたちが自主的に名乗りでくれた「あいさつレンジャー」。その責任感の強さと気付き・考え・実行する姿は、本当に素晴らしいです。

寄付をいただきました

大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

本校保護者様 より



- ・iPad 1台
- ・樹木剪定用チェーンソー 1台
- ・クラウドノート（記録用）1台



吉身学区子ども会連合会様 より

- ・会議用机 8台

